

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/08/24号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中東情勢の先行き不透明感、80ドル台後半へ

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台中盤から後半にかけてじり高の展開になった。改めて中東情勢の先行き不透明感が、原油相場を押し上げる展開になっている。8月17日に米国とイランの停戦に関する覚書が期限を迎えたが、停戦延長の動きはみられなかった。トランプ米大統領は、イランに対して「前例のない経済戦争」を行うと警告した。ベッセント米財務長官は8月24日に経済制裁を発表するとしており、緊張感が高まった。引き続きホルムズ海峡の開放見通しが立たず、短期需給ひっ迫リスクの織り込みが優勢だった。

イランがUAEに対してミサイル攻撃を行ったことも、原油相場を押し上げた。イランは米軍を支援する国に対する攻撃を警告しており、今後も周辺国を攻撃する可能性がある。UAEはイランとの経済・金融取引を停止すると発表している。また、イエメン武装組織フーシ派がサウジアラビア石油施設などに対する攻撃を続けていることも、原油相場にはポジティブ。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月14日時点）は、原油が前週比441万バレル増、ガソリンが69万バレル増、石油精製品が153万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

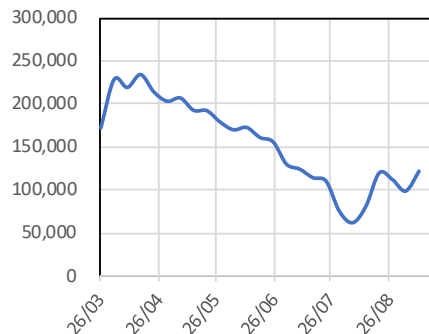
米国が対イラン経済制裁を発表、90ドル台乗せの可能性も

中東情勢に強く左右される地合が続く。8月24日に米国がイランに対する新たな経済制裁を発表する予定だ。どのような内容になるのかは不透明だが、いずれにしてもイランの反発を招くのは必至であり、米国とイランの対立は一段と激しいものになる可能性が高い。イランが経済制裁への報復として、周辺国の米軍基地などを攻撃すると、90ドル台乗せを試す可能性も想定しておく必要がある。ホルムズ海峡のタンカー通航が再開される見通しが一段と立ちづらい状況になると、期近限月主導の上昇地合が維持されやすい。イエメン武装組織フーシ派の攻撃が活発化しているため、タンカーやサウジアラビア石油施設などに大きな被害が報告された際にも、原油高が加速しやすくなる。

一方、中東情勢は予見可能性が乏しく、米国の対イラン経済制裁の発動を回避するといった動きがみられると、急反落する可能性もある。米国とイランが何らかの形で歩み寄りを見せ、ホルムズ海峡の開放期待が高まった際にも、戻り売られやすくなる。経済制裁発動で緊張感が一段と高まるのか、逆に歩み寄りが進むきっかけになるのかは、予想が難しい状況が続く。

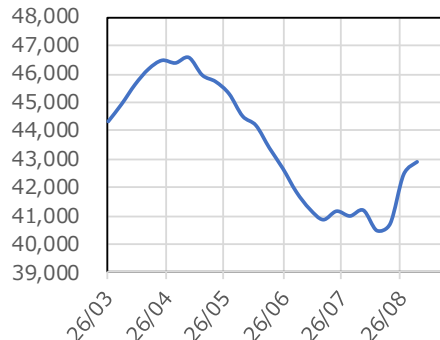
また、需要不安の高まりは引き続き原油相場の上昇余地を限定する見通し。原油高や世界経済の減速が石油需要を抑制している。供給ショックが需要ショックで相殺されるとの見方が強まると、大きな値動きにはつながりづらくなる。また、サウジアラビアが欧州やアジア向けに原油の積み出しを再開しているとReutersなどが報じている。サウジアラビア産原油の出荷が確認された際には、調整売りが膨らむ可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



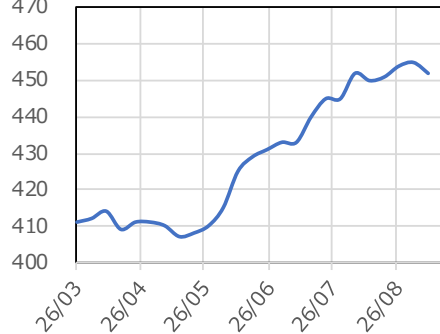
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで